

製品名: p53 DINP1 (17Q2) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe15644**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	TP53INP1
別名	p53DINP1; SIP; Teap; TP53DINP1; TP53INP1; TP53INP1A; TP53INP1B;
遺伝子 ID	94241.0
SwissProt ID	Q96A56
免疫原	ヒト p53 DINP1/TP53INP1 の合成ペプチド

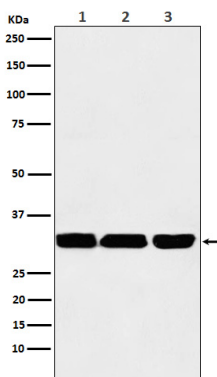
背景

二本鎖 DNA 切断に反応して、p53/TP53 の「Ser-46」リン酸化とそれに続くアポトーシスを促進します。細胞ストレス応答に関与する抗増殖性およびプロアポトーシス性タンパク質で、転写とオートファジーの二重調節因子として機能します。オートファジーの正の調節因子として機能します。細胞ストレスまたはオートファジーの活性化に反応して、オートファゴソームに移動し、オートファゴソーム関連タンパク質 GABARAP、GABARAPL1/L2、MAP1LC3A/B/C と相互作用してオートファジーを制御します。抗酸化物質として機能し、p53/TP53 駆動型酸化ストレス応答において重要な役割を果たします。p53/TP53 非依存性細胞内活性酸素種 (ROS) 調節機能と p53/TP53 依存性転写調節機能の両方を備えています。p53/TP53 および p73/TP73 を正に制御し、それらのアポトーシス誘導能および細胞周期制御能を刺激する。二本鎖 DNA 切断に反応して、p53/TP53 の「Ser-46」リン酸化を促進し、それに続くアポトーシスを誘導する。オートファジーおよびカスパーゼ依存性メカニズムによって細胞死を誘導することにより、腫瘍抑制因子として作用する。SPARC の発現を制御することで細胞遊走を抑制することができる。

研究分野

細胞生物学

画像データ



(1) HepG2 細胞溶解物、(2) RAW 264.7 細胞溶解物、(3) PC12 細胞溶解物における p53 DINP1 発現のウエスタンブロット解析。